



だんだん近づいてきた（進路講演会感想 その1）

13日の進路講演会の感想をいくつか挙げてみよう。

＊

●大学入試問題が、授業で習った、又は教科書に載っている範囲からの出題範囲がほとんどと聞き驚きました。そして、改めて普段の授業がいかに大切かを感じました。そして、勉強に目的意識をもつかもたないかで、効果が明らかに違うことも分かり、「量よりも質」の勉強が大切なのだと実感しました。今日の講演を参考にして、これからの受験勉強に役立てたいです。（T）

●大学受験するにあたり、根本的な部分の講義だった。自分はこのようなことを考えたことがなかったので、とても刺激的だった。大学が求めるものは、社会に出るときに役立つものである、今のうちから身のまわりにあるものに関心を持ち、日ごろから考える力を身につけたいと思った。幅広い教養を身につけることが重要だと気づいたのは高2からだが、今からでもしっかり他の科目も学び、思考力や予測不可能な問題にも対処できるようになりたい。（I）

●大学というものがよく分からなかった、大学の存在意義を大きく捉えられたことはよかったと思う。自分の未来でのあり方を描けず、ゆえに今を無気力に生きることに嫌気がさしていたが、現在・未来のあり方について幅広く知識が得られてよかった。（W）

●今日の講演会で特に印象に残ったことは、日比谷高校と東京大学の求める生徒像（学生像）が非常に似ているということだ。このことは以前からなんとなく感じてはいたが、今

日改めて似ていると思った。また、既に日比谷生となった自分には、東大生になる素質はあるということだと聞き、少し自信がついた。僕はすでに教科登録を終え、今受けている授業では来年受けない科目もあるが、どの教科も予習・授業・復習を見直したい。（N）

●大学入試がだんだん近づいてきたことを最近自覚してきた中で、大学という場所、またその先にある社会に関する知識が足りない事を痛感していました。しかし、今回の講演で、たくさんの知識をもらった上で、それを人との関わり合いの中で発揮する重要性を感じ、また大学はそれを養う場であることを再確認しました。また、切り替え、メリハリがとても重要だということも実感しました。自分は少し流されるところがあるので、そこをしっかりと基礎学力を確立し、自分の行きたいと思える大学に進学しようと思います。（M）

●大学受験は大事だけれど、それで終わりではなく、勉強は永遠にし続けるもの。大学は、自分で考え、自分で学び取っていくもの。答えのない問題に、最善の策を出すためのことを大学で学ぶというのは、大学ならではのことであった。どんな場面でも、全体的に学び考え、広い視野で判断していくことは必要だし、すごく大事だ。また、学部や大学名も大事だけれど、それだけではないんだなと思った。目的意識を持って学習効果を挙げたい。授業も自学も大事にしたい。あと、机の上もかえたいです。切り替え！ iPhoneは消そうと思った。（M）

●講演会の最後に「覚えていますか？」と提示された日比谷の…（次号に続く）